



2024年11月28日

各 位

会社名 株式会社 コ コ ナ ラ
代表者名 代表取締役社長 CEO 鈴木 歩
(コード番号 4176 東証グロース)
問合せ先 経営管理部長 田中 元
(TEL 03-6712-7771)

(訂正・数値データ訂正)「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2024年10月11日に開示いたしました「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載事項に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通り訂正いたします。

1. 訂正の理由

「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に、記載事項の一部に訂正すべき事項があることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の箇所

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月11日

上場会社名 株式会社コナラ 上場取引所 東
 コード番号 4176 URL <https://coconala.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木 歩
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 田中 元 TEL 03(6712)7771
 定時株主総会開催予定日 2024年11月27日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	6,588	40.8	304	-	225	-	243	-
2023年8月期	4,679	21.9	△126	-	△168	-	△75	-

(注) 包括利益 2024年8月期 105百万円 (-%) 2023年8月期 △169百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	10.21	10.00	11.8	3.3	4.6
2023年8月期	△3.20	-	△3.9	△3.5	△2.7

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 △0百万円 2023年8月期 -百万円

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	8,254	3,786	26.7	92.20
2023年8月期	5,232	3,125	37.2	81.65

(参考) 自己資本 2024年8月期 2,202百万円 2023年8月期 1,946百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	618	△1,336	1,629	3,905
2023年8月期	114	△932	761	2,993

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	44.2	160	△47.5	180	△20.2	130	△46.7	5.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社みずほココナラ、アン・コンサルティング株式会社、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年8月期	23,921,300株	2023年8月期	23,839,700株
2024年8月期	37,200株	2023年8月期	4,300株
2024年8月期	23,871,886株	2023年8月期	23,744,925株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	5,291	16.2	464	-	469	-	292	-
2023年8月期	4,555	18.7	△88	-	△72	-	△73	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	12.27	12.01
2023年8月期	△3.12	-

(注) 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年8月期	6,150		2,496		36.6		94.33	
2023年8月期	4,077		2,058		50.5		86.37	

(参考) 自己資本 2024年8月期 2,252百万円 2023年8月期 1,946百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社におきましては、「一人ひとりが「自分のストーリー」を生きていく世の中をつくる」をビジョンに掲げ、EC型のサービスマーケットプレイスである「ココナラスキルマーケット」等のサービスを展開しております。当社はオフラインで日常的に行われているあらゆる取引をオンラインでより便利に置き換えていくことで、唯一無二のサービスECプラットフォームとなることを目指しております。

当社がターゲットとする個人・企業間サービスにおいては、潜在市場規模は約18兆円と非常に大きい一方、オンラインで取引される比率は1%程度と推定されています（情報通信総合研究所による推定値）。オンラインでのサービス取引は、人生100年時代の到来や働き方改革でライフスタイルが従来とは大きく変化する中、社会的にも重要性の高い市場と考えております。

当連結会計年度は、プロダクト機能開発に注力する一方、「ココナラプロ」、「ココナラコンサル」、「ココナラアシスト」といった新規事業の立ち上げを行い、ココナラ経済圏の拡大を進めた他、2024年1月に株式会社みずほ銀行との合弁会社である株式会社みずほココナラを設立し、4月にサービスを開始しました。また、2024年6月にはエンジニアを中心としたITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐ「ココナラテック」事業拡大及び当社の企業価値の最大化に資すると判断し、アン・コンサルティング株式会社（現・株式会社ココナラテック）の株式を取得し、完全子会社化しております。

この結果、当連結会計年度の流通高は15,841,294千円（前期比8.0%増）、売上高は6,588,712千円（前期比40.8%増）、営業利益は304,776千円（前期は営業損失126,388千円）、経常利益は225,671千円（前期は経常損失168,277千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は243,716千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失75,899千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当連結会計年度より、従来「スキルマーケット」としていた報告セグメントの名称を「マーケットプレイス」に、「法律相談」としていた報告セグメントの名称を「メディア」に、「テックエージェント」としていた報告セグメントの名称を「エージェント」にそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

①マーケットプレイス

「マーケットプレイス」においては、2024年2月より「ココナラ募集」について、応募・募集フォーム等の大幅アップデートを行った他、8月には募集要項の「AI自動作成機能（β版）」の提供を開始しました。また、「みずほココナラスキルマーケット」のサービス提供を2024年4月より開始しました。

この結果、売上高は4,403,867千円（前期比10.1%増）、セグメント利益は432,649千円（前期は66,086千円のセグメント損失）となりました。

②メディア

「メディア」においては、ユーザーと弁護士のマッチング精度・量ともに順調であることから有料登録弁護士数が拡大しており、これを背景として弁護士からの広告収入である固定の利用料も成長しております。

この結果、売上高は649,852千円（前期比21.9%増）、セグメント利益は158,820千円（前期比127.2%増）となりました。

③エージェント

「エージェント」においては、2023年10月に優秀なアシスタントがビジネスをサポートする月額制サービス「ココナラアシスト」といった新規事業の立ち上げを行いました。2024年6月にはエンジニアを中心としたITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐココナラテックの事業拡大を早期に実現すべく、アン・コンサルティング株式会社（現・株式会社ココナラテック）の株式を取得し、子会社化しております。

この結果、売上高は1,534,993千円（前期比961.1%増）、セグメント損失は241,482千円（前期は97,962千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末より3,021,855千円増加し、8,254,770千円となりました。

これは主に現金及び預金が911,591千円、のれんが862,952千円、売掛金が455,033千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は前連結会計年度末より2,361,733千円増加し、4,468,684千円となりました。

これは主に長期借入金が1,144,189千円、買掛金が312,540千円、1年以内返済予定の長期借入金が215,786千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は前連結会計年度末より660,121千円増加し、3,786,085千円となりました。

これは主に非支配株主持分が271,592千円、利益剰余金が243,629千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、3,905,323千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、618,444千円の収入（前期は114,229千円の収入）となりました。これは主に未払金の増加145,115千円、株式報酬費用141,856千円、前受金の増加96,483千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,336,546千円の支出（前期は932,664千円の支出）となりました。これは連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出922,065千円及び投資有価証券の取得による支出261,412千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,629,693千円の収入（前期は761,221千円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,260,000千円及び非支配株主からの払込みによる収入414,700千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は短期的な利益成長ではなく中長期的な観点で高い成長率を実現できるよう、プロダクト開発、事業開発、およびマーケティング投資を継続していきます。2025年8月期は、売上高9,500,000千円（前期比44.2%増）、営業利益160,000千円（前期比47.5%減）、経常利益180,000千円（前期比20.2%減）、親会社に帰属する当期純利益130,000千円（前期比46.7%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,993,732	3,905,323
売掛金	475,700	930,733
前払費用	116,686	114,664
未収還付法人税等	—	1,014
その他	104,545	288,377
流動資産合計	3,690,665	5,240,113
固定資産		
有形固定資産		
建物	171,161	266,483
工具、器具及び備品	98,034	102,423
減価償却累計額	△84,575	△136,080
有形固定資産合計	184,620	232,826
無形固定資産		
ソフトウェア	8,466	17,799
のれん	144,721	1,007,674
顧客関連資産	55,100	378,307
無形固定資産合計	208,287	1,403,780
投資その他の資産		
投資有価証券	893,174	1,063,721
関係会社株式	—	6,551
長期前払費用	10,515	3,266
差入保証金	241,507	268,603
繰延税金資産	—	15,424
その他	4,143	14,429
投資その他の資産合計	1,149,341	1,371,997
固定資産合計	1,542,249	3,008,603
繰延資産		
株式交付費	—	4,109
社債発行費	—	1,943
繰延資産合計	—	6,053
資産合計	5,232,914	8,254,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,974	375,514
未払金	287,635	451,070
未払費用	49,009	99,604
未払法人税等	38,927	95,948
前受金	542,078	638,561
預り金	1,001,005	1,061,346
1年内返済予定の長期借入金	—	215,786
1年内償還予定の社債	—	20,000
ポイント引当金	3,127	1,918
クーポン引当金	7,567	5,988
その他	97,172	139,390
流動負債合計	2,089,497	3,105,130
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	—	1,144,189
繰延税金負債	17,453	102,456
資産除去債務	—	36,908
固定負債合計	17,453	1,363,554
負債合計	2,106,951	4,468,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,238,686	1,244,957
資本剰余金	2,384,341	2,390,553
利益剰余金	△1,677,039	△1,433,410
株主資本合計	1,945,989	2,202,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	107
その他の包括利益累計額合計	112	107
新株予約権	110,999	243,423
非支配株主持分	1,068,862	1,340,454
純資産合計	3,125,963	3,786,085
負債純資産合計	5,232,914	8,254,770

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	4,679,023	6,588,712
売上原価	328,425	1,494,509
売上総利益	4,350,598	5,094,203
販売費及び一般管理費	4,476,986	4,789,426
営業利益又は営業損失(△)	△126,388	304,776
営業外収益		
受取利息	27	399
受取還付金	9,240	10,832
有価証券売却益	—	4,500
経営指導料	—	6,014
受取家賃	—	1,656
その他	451	2,452
営業外収益合計	9,719	25,855
営業外費用		
支払利息	199	3,960
持分法による投資損失	—	208
投資有価証券評価損	49,500	90,000
株式報酬費用消滅損	—	9,556
その他	1,908	1,235
営業外費用合計	51,608	104,960
経常利益又は経常損失(△)	△168,277	225,671
特別利益		
新株予約権戻入益	12,500	—
特別利益合計	12,500	—
特別損失		
解約違約金	—	55,345
特別損失合計	—	55,345
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△155,777	170,325
法人税、住民税及び事業税	16,689	86,518
法人税等調整額	—	△22,126
法人税等合計	16,689	64,391
当期純利益又は当期純損失(△)	△172,466	105,933
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△96,567	△137,782
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△75,899	243,716

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△172,466	105,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,012	△865
その他の包括利益合計	3,012	△865
包括利益	△169,454	105,068
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△75,881	243,711
非支配株主に係る包括利益	△93,573	△138,642

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,221,560	2,366,763	△1,601,139	1,987,184
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）	14,610	14,610		29,221
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	2,515	2,515		5,030
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△75,899	△75,899
連結子会社の増資による持分の増減		452		452
合併による減少				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	17,125	17,578	△75,899	△41,195
当期末残高	1,238,686	2,384,341	△1,677,039	1,945,989

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	94	94	12,500	437,888	2,437,666
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					29,221
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）					5,030
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△75,899
連結子会社の増資による持分の増減					452
合併による減少					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	18	18	98,499	630,974	729,492
当期変動額合計	18	18	98,499	630,974	688,296
当期末残高	112	112	110,999	1,068,862	3,125,963

当連結会計年度（自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,238,686	2,384,341	△1,677,039	1,945,989
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）	3,759	3,759		7,519
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	2,511	2,511		5,022
親会社株主に帰属する当期純利益			243,716	243,716
連結子会社の増資による持分の増減				
合併による減少		△59	△87	△146
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	6,270	6,211	243,629	256,111
当期末残高	1,244,957	2,390,553	△1,433,410	2,202,100

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	112	112	110,999	1,068,862	3,125,963
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					7,519
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）					5,022
親会社株主に帰属する当期純利益					243,716
連結子会社の増資による持分の増減					—
合併による減少					△146
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△5	△5	132,423	271,592	404,010
当期変動額合計	△5	△5	132,423	271,592	660,121
当期末残高	107	107	243,423	1,340,454	3,786,085

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△155,777	170,325
減価償却費	29,314	36,509
繰延資産償却額	—	988
のれん償却額	2,226	32,003
顧客関連資産償却費	1,900	23,792
差入保証金償却額	7,689	9,705
投資有価証券評価損益(△は益)	49,500	90,000
新株予約権戻入益	△12,500	—
株式報酬費用	117,191	141,856
受取利息	△27	△399
支払利息	199	3,982
持分法による投資損益(△は益)	—	208
売上債権の増減額(△は増加)	△13,571	△15,068
前払費用の増減額(△は増加)	△21,418	7,614
長期前払費用の増減額(△は増加)	12,706	9,806
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,301	△81,453
未払金の増減額(△は減少)	△158,890	145,115
未払費用の増減額(△は減少)	25,555	3,419
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	12,016	14,688
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	△337
前受金の増減額(△は減少)	54,142	96,483
預り金の増減額(△は減少)	74,717	52,659
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△374	△1,208
クーポン引当金の増減額(△は減少)	1,053	△1,578
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,806	△65,868
その他の流動負債の増減額(△は減少)	96,527	—
その他	287	1,252
小計	107,360	674,498
利息の受取額	27	399
利息の支払額	△199	△3,960
法人税等の還付額	8,295	—
法人税等の支払額	△1,254	△52,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,229	618,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△98,575	△1,941
無形固定資産の取得による支出	—	△1,900
投資有価証券の取得による支出	△520,571	△261,412
関係会社出資金の払込による支出	—	△6,950
差入保証金の差入による支出	△69,120	△86,978
差入保証金の回収による収入	—	200
貸付けによる支出	—	△55,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△245,079	△922,065
その他	682	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△932,664	△1,336,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,260,000
長期借入金の返済による支出	—	△48,292
新株予約権の行使による株式の発行による収入	29,221	7,511
新株予約権の発行による収入	7,000	240
非支配株主からの払込みによる収入	725,000	414,700
非支配株主への配当金の支払額	—	△4,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	761,221	1,629,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,213	911,591
現金及び現金同等物の期首残高	3,050,945	2,993,732
現金及び現金同等物の期末残高	2,993,732	3,905,323

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(追加情報)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、サービス別の事業部を置き、各事業部のサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社は事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「マーケットプレイス」、「メディア」及び「エージェント」の3つを報告セグメントとしております。

「マーケットプレイス」は、個人の知識・スキル・経験に基づくサービスを売買するスキルのマーケットプレイス「ココナラ」を運営しております。

「メディア」は、一人ひとりにあった弁護士が見つかる検索メディア「ココナラ法律相談」を運営しております。

「エージェント」は、ITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐ「ココナラテック」、トップクリエイターと企業のマッチングを創出する「ココナラプロ」、ハイレベル人材を活用して企業の経営課題を解決する「ココナラコンサル」、さらに、優秀なアシスタントがビジネスをサポートする月額制サービス「ココナラアシスト」を運営しております。

(報告セグメントの名称変更)

当連結会計年度より、従来「スキルマーケット」としていた報告セグメントの名称を「マーケットプレイス」に、「法律相談」としていた報告セグメントの名称を「メディア」に、「テックエージェント」としていた報告セグメントの名称を「エージェント」にそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計（注2）
	マーケット プレイス	メディア	エージェンツ	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,001,347	—	—	4,001,347	—	4,001,347
一定の期間にわたり移転される財	—	533,021	144,655	677,676	—	677,676
顧客との契約から生じる収益	4,001,347	533,021	144,655	4,679,023	—	4,679,023
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	4,001,347	533,021	144,655	4,679,023	—	4,679,023
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,001,347	533,021	144,655	4,679,023	—	4,679,023
セグメント利益又は損失（△）	△66,086	69,889	△97,962	△94,159	△32,228	△126,388
その他の項目						
減価償却費	19,564	5,087	4,662	29,314	—	29,314
のれん償却額	—	—	2,226	2,226	—	2,226
顧客関連資産償却費	—	—	1,900	1,900	—	1,900

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書上の営業損失と一致しております。

3. セグメント資産及び負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計（注2）
	マーケット プレイス	メディア	エージェンツ	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,403,867	—	—	4,403,867	—	4,403,867
一定の期間にわたり移転される財	—	649,852	1,534,993	2,184,845	—	2,184,845
顧客との契約から生じる収益	4,403,867	649,852	1,534,993	6,588,712	—	6,588,712
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	4,403,867	649,852	1,534,993	6,588,712	—	6,588,712
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,403,867	649,852	1,534,993	6,588,712	—	6,588,712
セグメント利益又は損失（△）	432,649	158,820	△241,482	349,987	△45,211	304,776
その他の項目						
減価償却費	23,818	3,906	8,784	36,509	—	36,509
のれん償却額	—	—	32,003	32,003	—	32,003
顧客関連資産償却費	—	—	23,792	23,792	—	23,792

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

3. セグメント資産及び負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	81.65円	92.20円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△3.20円	10.21円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	10.00円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△75,899	243,716
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△75,899	243,716
普通株式の期中平均株式数(株)	23,744,925	23,871,886
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千 円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	508,473
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含 まれなかった株式の概要	新株予約権3種類 (新株予約権の数13,993個 (普通株式1,399,300株))	新株予約権3種類 (新株予約権の数13,968個 (普通株式1,396,800株))

（重要な後発事象）

該当事項はありません。